



日	曜日	2月の主な行事予定
1	火	生徒臨休(特色選抜) ③自宅学習開始
2	水	
3	木	50分×6限(7限カット)
4	金	
5	土	①全統模試 ②全統共通テスト模試
6	日	
7	月	50分×6限(7限カット)
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	建国記念日
12	土	
13	日	
14	月	③登校日
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	③2次対策補習最終日
23	水	天皇誕生日
24	木	学年末考査時間割発表
25	金	国公立大前期日程試験開始
26	土	
27	日	
28	月	賞状授与式 卒業証書授与式予行

家庭学習時間調査期間

2年生は受験勉強を開始しよう！！

1月10日(月)～1月16日(日)の家庭学習時間調査の結果 1月23日(土)に進研模試を実施しました。

	1週間の学習時間の平均	昨年度1月の調査	目標時間以上の割合	目標の半分以下の割合
1年生	12.9時間	15.4時間	27.4%	29.7%
2年生	18.3時間	16.7時間	53.2%	11.5%

大学入学共通テスト 平均点中間発表

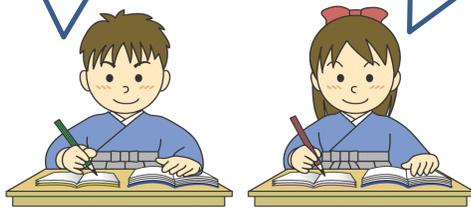
令和4年度大学入学共通テストが終了しました。難化が予想されていましたが、予想通り数学を始めいくつかの科目で昨年度より平均点が大きく下がっています。3年生は、次は各大学の個別試験対策です。志望校合格のために大切なことは、「最後まで絶対にあきらめないこと」です。学校の補習を有効に活用し、粘り強く頑張ってください。

	満点	本年度平均点(中間発表)	昨年度平均点(最終)	2年前平均点(最終)	本年度-昨年度
国語	200	110.3	117.5	119.3	-7.2
数学ⅠA	100	38.0	57.7	51.9	-19.7
数学ⅡB	100	43.1	59.9	49.0	-16.8
リーディング	100	61.8	58.8	116.3	3.0
リスニング	100	59.5	56.2	28.8	3.3
物理基礎	50	30.4	37.6	33.3	-7.2
化学基礎	50	27.7	24.6	28.2	3.1
生物基礎	50	23.9	29.2	32.1	-5.3
地学基礎	50	35.5	33.5	27.0	2.0
物理	100	60.7	62.4	60.7	-1.7
化学	100	47.6	57.6	54.8	-10.0
生物	100	48.8	72.6	57.6	-23.8
地学	100	52.7	46.6	39.5	6.1
世界史B	100	65.8	63.5	63.0	2.3
日本史B	100	52.8	64.3	65.5	-11.5
地理B	100	59.0	60.1	66.4	-1.1
現代社会	100	60.8	58.4	57.3	2.4
倫理	100	63.3	72.0	65.4	-8.7
政治経済	100	56.8	57.0	53.8	-0.2
倫理・政経	100	69.7	69.3	66.5	0.4
理系	900	513	572	569	-59
文系	900	508	552	559	-44

理系、文系はベネッセ自己採点集計による予想平均点

受験勉強って自分で計画して自主的に勉強することか。そういえば、今までは定期テストのための勉強だけだったなあ。

志望校の過去問を解いて、それを参考に、これからの勉強の計画を立てよう。



いよいよ今年度も残り2ヶ月となりました。

1・2年生は、3月の学年末考査に全力を尽くし、それぞれの学年の学習面の仕上げをしていきましょう。以上(佐伯)

1年生	「最も面白い研究とは、好奇心が原動力となった研究だ。」—これは昨年ノーベル物理学賞を受賞した真鍋淑郎氏の言葉です。皆さんは日々の生活の中で好奇心を持って取り組んでいることはありますか。特に答えが出なかった人は是非、本や新聞などを手にとってじっくりと読んでみてください。その中で自分が驚いたこと、疑問に思ったことなどをどんどん追究していきましょう。それが自分の学びの糧となり、日々の学習に対する興味・関心にもつながると考えます。1年生としての時間もあと少し。今一度自分の生活を見つめ直し、行動に移してみてください。毎日の学習がcuriosity-driven(好奇心に駆られた)ものになるといいですね。皆さんのさらなる飛躍に期待しています。(桜木)
2年生	大学を卒業して20年経った頃、高速バスと電車を使い継ぎ、お世話になった大学の先生の自宅をはじめ訪ねました。先生は既に大学を退官されていましたが、20年前の思い出だけでなく、改めて、学ぶことを通して身につく論理的な考え方の大切さをお話になりました。高校2年生の今、進路希望先の情報を十分に調べてこれからの勉強に結びつけることが大切だと考えます。どんな先生がどんな研究をしているか、そしてどんな「出会い」があるか、楽しみながら調べてください。その「出会い」が今後大きく影響することがあります。(廣田)